



～太陽と海と緑～観光文化のまち～

もとぶ

2014年
6月

子どもたちの健やかな成長とまちの発展を願って



町商工会青年部OB会が13年前から掲揚している「カツオのぼり」。今年は75匹が掲揚されました。

目次

- 本部小学校が新しくなりましたほか..... 2
- 「もとぶ香ネギ」県中央卸売市場へ初出荷ほか... 3
- 本部高校だよりほか..... 4
- 教育委員会だより..... 5
- 情報広場..... 6～7
- アセローラの日PRイベントほか..... 8

私たちの町

平成26年4月30日現在

世帯数 6,143 世帯(+18)

人口 13,681 人(+27)

男 6,941 人(+17)

女 6,740 人(+10)

() 前月比



住民健診は公民館以外に
個別病院でも受診できます。
詳しくは通知書をお読み下さい。
今年度目標値 **45%**(約 **1,440**人)



6月23日は慰霊の日です。戦没者を哀悼し、世界平和を願いましょう。



▲関係者によるテープカットの様子

本部小学校は、明治・大正・昭和・平成と、130年余の歴史を刻み、町内屈指の伝統ある小学校です。

改築前の本部小学校は、昭和53年に整備され、築35年以上経過し、施設の老朽化が進行していたことから、耐震化及び教育環境の面で早急に改善を図る必要があります。今回の全面改築により、環境社会を踏まえた人間にやさしいバリアフリー化・エコスクールを取り入れた施設となっており、さらに自然災害にも対応できる安全面を重視した機能的な造りとなっています。

4月27日には、本部小学校内で落成式・祝賀会が催され関係者ら約80人が出席しました。高良文雄町長は、先人達が育んできた「武本部」を本部町のこれからの人材育成の基本に捉え、学校教育の振興・児童生徒の学力向上に取り組みでいききたいと意気込んでいました。

祝賀会では、新しい体育館で町文化協会による幕開けや本部っ子八重さくらによる余興も行われ、華やかな会となりました。

本部小学校が新しくなりました

概要

- ・所在地：沖縄県国頭郡本部町字東 605番地
- ・敷地面積：31,210㎡
- ・校舎：5,638㎡
(RC造 地上3階建て)
- ・体育館：962㎡
(RC造 地上2階建て)
- ・幼稚園：648㎡(RC造 平屋)
- ・運動場：10,454㎡
- 総事業費
2,342,054千円



▲上空から撮影した本部小学校

カルスト地形と山ゆりが魅せる

第2回国定公園カルスト山ゆり祭り



▲山ゆりの咲く沿道でクロスカントリー

可憐な白い花をつける山ゆりと、約2億年の年月が作りだした壮大なカルスト地形が織りなす景観が見る人を圧倒する山里、大堂地区で、5月3日から2日間の日程で国定公園カルスト山ゆり祭り（主催・同祭り実行委員会）が開催されました。

2回目となった今回の祭りでは、町や地元団体が協力し山ゆりの植栽を行い、約12万輪の白いゆりが訪れた人を迎えました。

祭り1日目には、クロスカントリー2014実行委員会（会長・比嘉清）の主催により、祭りイベント主会場となった山里ゲートボール場を発着点としたクロスカントリーが行われ、約60名の参加者は景色を楽しみながら汗を流していました。

両日とも、日没後は山ゆりや岩肌がライトアップされ、幻想的な雰囲気のほか民謡ライブなどのイベントが行われ、会場は盛り上がりを見せていました。

また、山里に新設されたもとぶカルストピージャーパーク（山羊舎）では、農業生産法人（株）もとぶが山羊のふれあい体験を実施し、山羊の愛くるしい姿が訪れた人の笑顔を誘っていました。

祭り期間中だけで約1000名の来場があり、同祭り実行委員会会長の當山清博さんは「地元の方々への助力により祭りを成功させることができました」と笑顔で話していました。



▲山羊のふれあい体験



▲ライトアップされた山ゆり



6月は男女雇用機会均等月間です。職場における男女均等について社会一般の認識と理解を深めましょう。

もとぶ自慢の「もとぶ香ネギ」県中央卸売市場へ初出荷

ド野菜の確立のため今年1月に商標登録を取得しました。もとぶ産の新鮮野菜を販売するもとぶかりゆし市場での人気も高く、現在町内で約20の農家が生産しています。

初出荷式では、平良副町長が「本部町自慢のもとぶ香ネギの味、香りといった魅力をさらに多くの人に届けていきたい」と力強く挨拶しました。

会場には、「もとぶ香ネギ」を使った浅漬けやスープの試食も用意され、仲卸業者からは「香りも甘みも強く料理の幅が広がる」といった声や「食感がとてもいい」といった声が聞かれ、大好評でした。

生産の中心となっている農業生産法人では、露地栽培と施設栽培あわせて年間約12トンの出荷を予定しており、県中央卸売市場には約3トンの出荷を予定しています。



▲「もとぶ香ネギ」をPRする関係者



▲「もとぶ香ネギ」を試食する仲卸業者や関係者



桜の木に感謝の
思いを込めて

日本一早咲きの桜下草刈りと施肥作業

▲草刈り・施肥を参加者で手分けし作業した

町内の農業生産者等で構成された本部町の農業を元気にするネットワークの会（会長・宮城達彦）が4月22日、八重岳桜の森公園に桜の木の下の草刈りと施肥作業を行いました。

作業に先駆けて宮城会長は「毎年多くの人の目を惹きつけてくれる桜の木に、感謝の思いを込めて作業しましょう」と挨拶しました。

作業には、次世代の担い手で構成する町青年農業者の会や町観光協会も協力し、総勢38名が集まりました。各自で持ち寄った草刈り機などを使い慣れた手つきで下刈りし、同会の畜産農家が提供した堆肥をたっぷり撒きました。

本部町の農業を元気にするネットワークの会の皆様、ありがとうございました。



▲作業を行ったメンバー

激しい技
の応酬!

瀬底島ピージャーオーラサイ

5月4日、真夏を思わせる青空のもと、瀬底島ピージャーオーラサイ（主催・同保存会）が開催され、会場となった町多目的イベント広場（闘牛場）には、町内外から約250名の観客が詰めかけました。

対戦では、闘山羊独特の激しい正面割りなどの技が繰り広げられるたびに、観客からは、「よいしょー」といった掛け声や指笛が上がり、トカラ2号とキンタロウの闘いでは、20

年以上闘山羊に携わり、当日の実況を務めた仲間勝弘さんも初めて見たと話す、相手を角で絡めて後ろに放り投げる大技が繰り出され、会場を大いに沸かせていました。

闘山羊以外にも、太鼓演舞や民謡ショー、抽選会などが行われ、観光で神奈川県から訪れた30代の男性は「沖縄旅行は3度目だが、闘山羊は初めて見て、迫力に驚いた。民謡も見れて満足した」と笑顔で話していました。



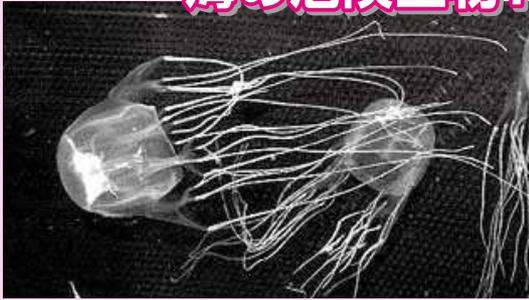
▲闘山羊の見どころのひとつ「立ち技」



6月1日～7日は「水道週間」です。私たちに水を届けてくれる水道の大切さについて考えましょう。

消防だより

気をつけよう!! 海の危険生物!!



県内ではすでに多くのビーチが海水浴客でにぎわっています。美しい沖縄の海には楽しみがいっぱいです。しかし海には毒をもった危険な生物がひそんでいることを忘れてはいけません。今回は本部町でも毎年被害のある海洋危険生物を紹介します。

沖縄の海には猛毒を持つハブクラゲをはじめ、アンボイナ(浜なかあー)・オニダルマオコゼ(石あふあ)・オニヒトデ・ウミヘビなど、多くの危険生物が生息しています。中でもハブクラゲの被害が多く、海洋危険生物による刺咬症被害のうち半分以上はハブクラゲによるものです。ハブクラゲによる刺咬事故を未然に防ぐために、そして万が一被害に遭われたときに落ち着いて対処ができるように適切な処置方法を掲載しましたので、以下の注意を守り楽しいマリッジジャーを過ごしてください。

【ハブクラゲ刺咬事故を未然に防ぐ対策として】

1. 海水浴を行う際には、ハブクラゲ侵入防止ネットの内側で泳ぎましょう。
2. 遊泳時には、できるだけ肌の露出を避けましょう。
3. 海に出かける際には、酢(食酢)を持参しましょう。

【もし、ハブクラゲに刺された場合には】

1. まず海から上がり、激しい動きをしないで近くの人に助けを求めましょう。
2. 刺された部分はこすらずに、酢(食酢)をたっぷりかけて触手を取り除き、氷や冷水で冷やしましょう。
3. 応急処置をした後、医療機関で治療を受けましょう。

注. 刺された生物によって、応急処置の方法が異なります。

詳しくは

北部福祉保健所(生活環境課) TEL.52-2636
本部町今帰仁村消防組合 TEL.47-7119

本部町今帰仁村 清掃施設組合 新採用職員

平成26年4月1日付けで、2名の職員が採用されました。



ザ ヤス ヒロ タカ
座安 浩貴

清掃組合職員として、皆さまに住みよい環境を提供する責任を常に意識しながら、一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひします。



キン ジョウ ダイ キ
金城 大樹

町民の皆さまのためにお役にたてる仕事ができることを大変うれしく思います。美しいまち本部町の更なる環境美化に向けて、一生懸命職務に励んでまいりますのでよろしくお願ひします。

本部高校だより

学校全体の底上げを!

沖縄県立本部高等学校 校長 久場 政彦



平成26年度がスタートして早や1ヶ月が過ぎました。学校現場では4月が最も忙しい時期です。新入生を迎えて、校務の準備や諸行事に追われ目が回るほど忙しい毎日が続きます。

さて、今年度から、本部高校では更なる躍進を期して学校経営3カ年計画「本高ステッアッププロジェクト」を始めました。初年度に当たる今年度は、「ないものねだりはしない、あるもの磨きをする」のスローガンのもと、現在の取組を強化して学校全体の底上げを図ることを目標に掲げています。

今年度の取組として、成績不振により単位保留科目を多く抱えている生徒のために、名桜大学の学生さんに学習指導のボランティアをお願いするにしました。その結果、9名の学生さんが手を上げてくれました。そのうち7名は県外出身の学生さんです。これを機会に、学校の勉強以外でも多くのことを学び視野を広げてくれることを期待しています。

勉強嫌いの子をその気にさせるにはどうしたらよいか。最近、気になる本を読みました。坪田信貴著「学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話」(KADOKAWA刊)です。教育図書としては異例の売り上げで、発刊からわずか5ヶ月で30万部を突破するというベストセラー本です。高2で「聖徳太子」を読めなかつた超問題児がわずか1年半で難関大学に合格するという実話で、楽しく読める内容です。何より、子どもたちが無限の可能性を秘めた存在であることを実感させてくれます。興味のある方はぜひ読んでください。



6月1日～30日は「暴走族取締強化期間」です。暴走族を許さない環境を作るために取締りが強化されます。

ブームトゥブ

「武本部」の精神で未来を担い 明日を切り拓くもとぶっ子 本部町教育委員会の施策が 新しいステージに入りました！ 学力向上のために

〈学校〉町立幼稚園5園・小学校6校・中学校4校と県立本部高等学校
〈家庭・地域〉全児童生徒の保護者と本部町民
〈教育行政〉本部町教育委員会

学校

三者の役割分担と連携

家庭
地域

教育
行政

わたしたちの本部町は
630運動(ロクサンマル)
発祥の地です。



古くから本部人
(ムトゥブンチユの
気質である「武本
部」(ブームトゥブ)
と言われる「質実
剛健」で「進取の気
性に富んだ」文武
両道の幼児・児
童・生徒の育成を
めざしています。

家庭・地域で徹底すること

ク(ク)リ(ン)活(動) リ(ン)生(活)リ(ズ)ム
ア(イ)明(る)いあ(い)さ(つ)

- ◆クリーン活動 ゴミが落ちていたり、ものがちらかつていところでは健全な「心」は育ちません。
 - 身の周りのかたづけ
まずは、自分の身の周りのかたづけをして気持ちを整えましょう。
 - 学習環境の整備
学習用具をそろえ、学習の環境にふさわしい「場」をつくりましょう。
 - 花いっぱい運動
学校の花壇や家庭の花鉢への水やり、身の周りを花いっぱいにしましょう。
- ◆生活リズムの確立 家庭で最も取り組んでいただきたいこと。「生きる力」を育む基盤です！
 - 630(ロクサンマル)
「早寝、早起き、朝ご飯。」学習の効率化。「脳」の働きにはブドウ糖が不可欠。習慣化しましょう。
 - 家庭学習・家庭読書
教育の原点は家庭です。家庭を「学びの環境」にしましょう。
 - 一家団らん・家庭でのお手伝い
「将来の夢」「進路」について語りましょう。家庭での役割を与え、社会性を培いましょう。
- ◆明るいあいさつ 家庭で、地域で、学校で。「あいさつ」は、コミュニケーションの基本です。
 - 明るいあいさつセット運動
明るい朝のあいさつは一日をステキにします。
 - 「時」と「場」に応じたあいさつ
あいさつはコミュニケーションの基本。「時」「場」に応じたあいさつを心がけましょう。
 - 「授業」へ、「給食・食事」への感謝
「感謝の気持ち」を持って心をこめてあいさつをしましょう。

学校で徹底すること

ブームトゥブ
武本部

もとぶっ子育成「授業づくりの指針」

- 1 ねらい(達成目標)を明示した授業
- 2 教材・教具・説明の工夫
- 3 板書の工夫
- 4 形成的評価(理解の確認)と学び振り返り
- 5 自己評価の実施
- 6 言語環境の整備と言語活動の充実
- 7 家庭学習と授業の連動
- 8 習得したことを活用する場の設定
- 9 学習習慣の確立(学習を支える力)

【保護者の方へ お願い】

本部町内の幼・小・中・高の各学校では、以上のことを共通認識のもと、通年で実践指導しています。
しかし、基本的な生活習慣の形成は学校の取組みだけでは成果のあがらないものです。特に、「生活リズムの確立」や「家庭学習の習慣化」は家庭が主体となり、保護者が積極的に関わることでしか培われません。
「学校、家庭、地域、教育行政」が一体となって私たち『武本部』(ブームトゥブ)の子どもたちの「学力」を向上させましょう。



6月1日～9月30日まで「夏の省エネキャンペーン」が展開されます。住みよい環境を守るため、省エネを心がけましょう。

沖縄県障がい者歯科地域協力医について

障がいをもつ方の中には、筋緊張等により、一般の歯科診療所では治療が困難な方もいらっしゃいます。

「沖縄県障がい者歯科地域協力医」は、一般社団法人沖縄県歯科医師会が実施している、障がい児(者)への歯科治療について研修を受けた歯科医であり、簡単な治療、相談の窓口や定期検診での管理を主な目的としているものです。障がいの重さ、全身的な管理の面で歯科治療が困難である場合は、口腔保健医療センター等や大学病院への紹介になる場合もあります。

障がい児(者)の皆様におかれましては、歯科治療を行う際の参考とさせていただきます。

※下記歯科診療所における医療費の費用は、他の歯科診療所と同様に通常費用(3割等の自己負担)がかかります。

<沖縄県障がい者歯科地域協力医一覧(北部)>

(北部以外の協力医については本部町福祉課までお問い合わせください。)

No	医療機関名	住 所	TEL
1	北山歯科医院	今帰仁村字仲宗根279-4	0980-56-5655
2	オアシス歯科医院	名護市東江1-25-14	0980-51-0777
3	くまがい歯科クリニック	名護市字宇茂佐1181	0980-43-8890
4	ハート歯科	名護市大北5-2-3	0980-54-8822
5	なごみの森歯科	名護市名護4558-53 ポケットプラザビル1階	0980-52-0737
6	こうげん歯科医院	名護市宮里1-1-52	0980-52-5380

お問い合わせ 本部町福祉課 福祉班 TEL.47-2165

労働安全衛生法に基づく 平成26年6月講習会のご案内

講習会名	受講料	定員	日 時	会 場	備 考
フォーク リフト 運転技能 講習	¥45,900 (テキスト代込)	20名	学科 6/16(月) 9:00～18:00 実技 6/17(火)～20(金) 4日間 9:00～17:00	学科 北部会館3階 (名護市宇茂佐の森5-2-7) 実技 ネオパークオキナワ (名護市字名護4607-41)	最大荷重1t以上の フォークリフトの運 業務 (道路上の走行を除く)
危険予知 訓練(KYT) リーダー 研修	会 員 ¥15,643 (テキスト代込) 非会員 ¥18,883 (テキスト代込)	60名	6/25(水) 6/26(木) 両日とも 9:00～17:00	北部会館3階 (名護市宇茂佐の森5-2-7)	労働災害を未然に 防止し、安全を先取 りするための優れた 手法を修得する研修

※申込は先着順の受付とし、定員になり次第締め切らせて頂きます。
※受講者が少ない場合は、中止又は延期になる場合があります。予めご了承下さい。
※講習規定により遅刻、早退、欠席者は失格となりますのでご注意ください。
※顔写真2枚(縦3cm×横2.4cmポラロイド、デジタルカメラ撮影不可)必要となりますのでお申し込み時に提出して下さい。
※お支払い頂いた受講料は、払戻しは出来ませんのでご了承下さい。

お問い合わせ (一社)沖縄県労働基準協会 北部支部 名護市宇茂佐の森5-2-7 北部会館4階
TEL.0980-54-4700

広告



広告





湿度が高くなる梅雨時期は食中毒が増加するといわれています。衛生管理に留意し、食中毒を防ぎましょう。

ご寄付 ありがとうございました。

本部町ちゅらまちづくり応援基金へ

<ご寄付>

合資会社 本部清掃様 本部町 20万円

平成26年経済センサスー基礎調査及び平成26年商業統計調査のお知らせ

総務省統計局及び経済産業省(沖縄県・本部町)では7月1日現在で経済センサスー基礎調査及び商業統計調査を実施します。

じぶんとけいさつ



【調査の目的】

●経済センサスー基礎調査とは

すべての産業分野における事業所を対象に、企業の従業者規模などを調査し、全国的及び地域的な構造を明らかにするとともに、各種統計調査のための情報を整備することを目的とする全数調査です。

●商業統計調査とは

卸売・小売業を営む事業所を対象として、従業者数や商品販売額等を把握することで、商業に関する施策の基礎資料を得ることを目的とした調査です。

この二種類の調査は調査内容や対象が重なることから、今回は調査の負担を少しでも軽減するために一体的に実施することになりました。

【調査の期日】

平成26年7月1日現在

【調査の対象】

全国すべての事業所及び企業を対象に実施します。

【調査事項】

★主な調査内容

- 事業所の名称・所在地・従業員数・業種・業態・経営組織などの基本情報
- 決算月や年間総売り上げ
- 卸売・小売業の事業所は年間商品販売額や営業時間等、仕入れ割合などの詳細

調査の対象には、6月下旬ごろ、調査員が訪問して調査票を配布いたします。個別に調査員がお伝えする回収日までに調査票に記入して回収をお待ち下さい。

■この調査は、統計法に基づく基幹統計調査で、調査票に記入して提出する義務があります。

■提出された内容は統計作成の目的以外(税の資料など)には、絶対に使用しません。

本部町企画政策課 TEL.47-2702

6月は 町県民税1期 納付月です

※平成26年度国税の納付書は7月上旬に郵送予定となっています。

納付月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
資産税	○ 1期			○ 2期					○ 3期		○ 4期
町県民税			○ 1期		○ 2期		○ 3期			○ 4期	
軽自動車税		○									
国保税				○ 1期	○ 2期	○ 3期	○ 4期	○ 5期	○ 6期	○ 7期	○ 8期

6月の夜間納税相談日 **平成26年6月25日(水)**
午後5時30分～午後7時30分

※毎月25日実施(25日が休日であれば翌平日)
※納税相談の際は、事前に電話連絡をお願いします。

相談できる税/固定資産税・町県民税・軽自動車税・国保税

お問い合わせ 保険予防課 TEL.47-2701 町税対策課 TEL.47-5629

もとぶ ふれあい交流館 ★6月の開講教室★ ～学んで伝えて繋がりよう!もとぶの輪～

参加者募集の教室

昔あそび	毎週月曜日 16:00～17:00 申し込み不要 どなたでも 料金:無料 講師:平良恵美子先生
習字	6月5日(木) 15:30～17:00頃 6月12日(木) 15:30～18:00頃 申し込み不要 どなたでも 持ち物:習字道具 料金:0～18歳無料・19歳以上1回200円 講師:大城正功先生
読み聞かせ	毎週木曜日 10:30～11:00 申し込み不要 どなたでも 料金:無料 講師:新城秀子先生・仲宗根須磨子先生
開講中の教室	
三線	19歳以上 毎週火曜日15:00～16:00 小学2年～18歳 毎週土曜日10:00～11:00 講師:上原良美先生
空手	毎週火曜日 16:30～17:30 講師:喜屋武 敦先生

お問い合わせ TEL.070-6643-4163/47-2575 (担当:仲田・饒波)
もとぶ ふれあい交流館 〒905-0214 渡久地231番地

広告



広告



5月12日は「アセローラの日」

アセローラの魅力が集結 アセローラの日PRイベント



▲迫力満点のもとぶっ子八重さくらによる太鼓演舞



▲可愛い衣装や動きが笑顔を誘った風のわ保育園の園児によるダンス

町産業支援センターアジマー広場で5月11日、アセローラの日PRイベント(主催・もとぶアセローラの会)が開催されました。イベントの冒頭、主催者を代表して並里哲子さんは「多くの方の協力により小さなアセローラの実が大きな産業に成長している」と感謝の言葉を添えて開会の挨拶を行い、来賓挨拶を行った高良町長は「本部町でしか味わえない採れたてのアセローラの味や、多彩な商品を楽しんで下さい」と呼びかけていました。

会場には果実を使ったジャム入りのパンやジュース、ドレッシングといった食品や、葉を使ったお茶、アセローラの樹で作られたボールペンや、化粧品などが並び、来場者は商品を手に取りながら買い物を楽しんでいました。

イベントでは、アセローラ関連商品以外にも、本部つ子八重さくらの太鼓演舞や、本部小学校6年生による演劇、MOTOTOBULLや風のわ保育園によるダンス、フラダンスやライブがイベントに華を添えました。

来場者の中には、町外から訪れた方も多く、会場は終始賑わいをみせていました。



▲好天に恵まれ、多くの来場者がイベントを楽しんだ



▲本部町とアセローラの歴史などを紹介した本部小学校6年生による演劇

アセローラの味を子どもたちへ アセローラゼリー贈呈式



▲アセローラゼリー贈呈式(町立学校給食センター)

5月12日の「アセローラの日」にあわせて、本部産アセローラを使用した製品を加工・販売する町内7業者により構成されたもとぶアセローラの会(会長・並里哲子)が9日、アセローラゼリーの贈呈を町立学校給食センターで行いました。

「町の特産品であるアセローラの味を楽しんでほしい」と話す並里会長。今年は町内の全小中学校分として1350個が用意され、各学校に配られました。

上本部小学校では、10日の給食にアセローラゼリーが登場し、校内放送で本部町のアセローラの歴史が紹介されるなか、甘酸っぱいゼリーの味に子どもたちからは歓声が上がっていました。



▲アセローラゼリーを楽しんだ上本部小学校1年の児童

カツオのぼりのもと イベント多彩

第2回もとぶカツオのぼりまつり

5月4日、カツオのぼりが悠然と空を泳ぐ渡久地港プロムナードにおいて、もとぶカツオのぼりまつりが開催されました。このまつりは、主催者の町商工会青年部が、同部OB会により掲揚されているカツオのぼりを活用し、町の特産品のPRや、子どもと大人が一緒に楽しめるイベントとして企画・開催しています。

オープニングセレモニーでは、町商工会青年部部長の宇根真一さんが「時間の許す限り多彩なイベントを楽しんでください」と挨拶し、その後行われたカツオの刺身無料振る舞いでは、約100名分用意された刺身がわずか5分足らず無くなるほどの人気でした。

ステージでは、子どもたちが琉舞やダンス、エイサーを披露し会場を盛り上げました。イベントの締めくくりには、本部町出身の前田秀幸さんが所属するグループ「Sky's The Limit」によるライブが行われ、最後まで人が溢れるほどの来場者で賑わっていました。

美ら海水族館の帰りに立ち寄ったうるま市の山城勇人さん(26)は「カツオの刺身が美味しかった。買って帰りたい。イベントも見応えがある」と話し、満足した様子でした。



▲カツオの刺身無料振る舞いに来た長蛇の列